

住民と議会をつなぐ

議会だより

2022年
第53号



ハーベスターでさとうきび収穫の様子

栗国村では製糖操業開始が1月15日から始まり、終了予定は3月28日頃となり、今年の収穫量は1,700トンを見込んでいるとのことです。

栗国の黒糖はまるやかで上品な甘みでとってもおいしいですよ

今年もおいしい黒糖をくわっちーさびら。

目次

- 議決結果賛否一覧表 2
- 一般質問(12月).....3~10
- 議員視察.....11

令和4年

発行:栗国村議会
編集:議会広報調査特別委員会
〒901-3792
沖縄県島尻郡栗国村字東367番地
電話(098)988-2222
FAX(098)988-2281

令和3年 第9回 栗国村議会 定例会 議決結果賛否一覧表(12月)

会期: 令和3年12月8日から12月9日までの2日間

議案	件名	結果	結果日付	小橋川 聡	赤嶺 真知子	太田 晃	与那城 義幸	城間 成弘	上江洲 智章	山城 雅雄
1 議案第41号	南部広域行政組合を組織する市町村数の減少及び組合規約の変更について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
2 議案第42号	南部広域行政組合からの北大東村の脱退に伴う財産処分について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
3 議案第43号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
4 議案第44号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び規約の変更に伴う財産処分について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
5 議案第45号	令和3年度栗国村一般会計補正予算(第5号)について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	議
6 議案第46号	令和3年度栗国村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
7 議案第47号	令和3年度栗国村航路事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	長
8 議案第48号	令和3年度栗国村村民牧場事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
9 議案第49号	栗国村国民健康保険条例の一部を改正する改正する条例について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
10 発議第12号	離島振興法の改正・延長を求める意見書について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	
11 発議第13号	海底火山噴火による噴出した漂流・漂着軽石に関する意見書について	可決	12月9日	○	○	○	○	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」、除斥者は「除」とします。
 ※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合を除く)

令和4年 第1回 栗国村議会 定例会 議決結果賛否一覧表(1月)

会期: 令和4年1月26日の1日間

議案	件名	結果	結果日付	小橋川 聡	赤嶺 真知子	太田 晃	与那城 義幸	城間 成弘	上江洲 智章	山城 雅雄
1 議案第1号	栗国村過疎地域持続的発展計画策定の承認について	可決	1月26日	○	○	○	○	○	○	
2 議案第2号	令和3年度栗国村一般会計補正予算(第6号)について	可決	1月26日	○	○	○	○	○	○	議
3 議案第3号	物品売買契約の締結について	可決	1月26日	○	○	○	○	○	○	
4 発議第1号	米軍ヘリコプターの不時着に対する抗議決議について	可決	1月26日	○	○	○	○	○	○	長
5 発議第2号	米軍ヘリコプターの不時着に関する意見書について	可決	1月26日	○	○	○	○	○	○	

議案賛成者は「○」、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」、除斥者は「除」とします。
 ※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合を除く)

※質問・答弁は要約して掲載しています。

令和3年12月定例会



与那城 義幸 議員

直営事業等について

Q 質問

①村が直営事業として行っている植物コンテナ事業、特産品販売所とび吉、村民牧場事業、指定管理委託しているパークゴルフ場について以下のとおり伺いたい。

1―1 直近3年の事業の収支について(図表にて)

1―2 事業の現状と課題について

1―3 今後の運営方針について、伺いたい。

植物コンテナ事業	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
歳 入	276,430	518,948	539,574
歳 出	2,755,051	6,378,712	7,829,446
差 引 額	▲2,478,621	▲5,859,764	▲7,289,872
職 員 数	2	2	3

A 答弁 高良修一 村長

植物コンテナ事業、特産品販売所とび吉とも3年間赤字です。村民牧場事

業につきましては黒字となつていきます。

Q 質問

事業の現状と課題について、植物コンテナ事業は計画時には収益があると見込んでいたが、全く達成できていない状況です。とび吉は地元の特産品開発、販売がなかなか進まないことが多く、村民牧場は老朽化、母牛の高齢化等が課題となつていきます。パークゴルフ場は利用率の低

迷や委託料の高止まりが課題となつていきます。今後の運営方針につきましては、植物コンテナはコスト削減と取り扱い品目の再検討、とび吉は地元特産品の開発・販売の推進、村民牧場は畜産農家支援の拠点体制づくり、パークゴルフ場は利用率の向上と委託料の低減化をそれぞれ目指します。

A 答弁 新里親房 課長

野菜は月400束を、島内にて注文販売を行っていますが、島外への流通については輸送費等のコスト面から難しく、また、露地栽培と水耕栽培を合わせて行うには現在の人員では難しい状況です。品目や価格については村民へアンケートを実施し、検討していきます。

Q 質問

とび吉については年々増える赤字についての説明とヤギ肉を販売してい

ますが、販売価格の決定をどのようにして決めたのか説明をして下さい。

特産品販売所とび吉	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
歳 入	6,092,597	8,551,154	6,800,532
歳 出	9,606,790	11,137,036	13,092,481
差 引 額	▲3,514,193	▲2,585,882	▲6,291,949
職 員 数	3	3	3

A 答弁 新里親房 課長

人件費が主な要因で、コ



※質問・答弁は要約して掲載しています。

口ナの影響により、特にお土産品の売り上げが減少し、赤字幅が大きくなっています。去年からヤギの販売もしていますが、ヤギの価格は、刺身は100グラム1,000円、ブロック100グラム750円、汁物100グラム250円で販売しています。価格設定の際には那覇、浦添、久米島等の調査を行い参考にし、島外で屠畜する経費がかかっていますので、利益が出るように価格設定しています。

Q 質問

日曜日に村内の食堂は休んでいる所が多いので、観光客の利用などどび吉を日曜日に開けるべきだと思えますが説明をして下さい。

A 答弁 新里親房 課長

要望があるのであれば、休みの曜日について検討したいと思います。

Q 質問

村民牧場について

村民牧場事業	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳入	26,077,220	29,200,680	24,829,618
歳出	18,650,706	18,795,077	22,937,328
差引額	7,426,514	10,405,603	1,892,290
職員数	3	3	3

※繰越金を除く

A 答弁 新里親房 課長

100万円の黒字ということですが、農家からの要望もあると思いますが、牧草を巻くまたは機械の貸し出し、家畜の出産、病気などへの協力などを行うことで収入増にもつながり農家も助かると思うかどう考えているか。

A 答弁 新里親房 課長

今3名体制で運営していますが、規則で設定して支援がしやすいようにしていきます。

Q 質問

パークゴルフ場ですが、パークゴルフ場の委託料も増えています。大会など開催してはどうかと以前から提案しています。近隣の調査など行って検討していますか。

A 答弁 新里親房 課長

観光協会の事務局と経済課において定期的なミーティングを行っていますので、検討していきます。

《提案》

他では全国大会を開催したり、地域でも毎月大会をしてパークゴルフ場の人を呼び込んでいます。委託するだけでなく村民や観光客を呼び込み、収入が増えるようにしてください。

猫の適正飼育について

猫の適正飼育について猫の適正飼育について行政はどのように指導を行っているか伺いたい。

A 答弁 高良修一 村長

猫の適正飼育について6月に猫の餌やりについて全世帯にチラシを配布しました。増やさないために地域の皆さんと協力し、公益財団法人動物基金さくらねこ無料不妊治療などぜひ検討し、地域の意識の向上に努めたいと考え

※質問・答弁は要約して掲載しています。

ております。

Q 質問

栗国村の場合は外猫が多いですので、行政は不妊去勢治療などの周知や飼い方の指導をする必要があり、また地域の住民は協力する必要があります。猫の飼い主を明らかにするための首輪を配布する、または地域のルールづくりなどについてどのように考えているか説明して下さい。

A 答弁 濱川民生 課長

飼い猫の調査をしながら、飼い主に対しての指導を行い、首輪などについても検討します。

《要望》

猫の生態や習性を理解し、猫と人が快適な生活を

送ることが出来るよう行政も指導しながら地域のルール作りを進めていただきたい。



太田 晃 議員

船の旅客運賃について

Q 質問

①那覇からの旅客運賃、農業資材、家畜の飼料等の貨物運賃の低減化について伺いたい。

②自動車の航送運賃5m未満の令和2年度の総数、1年間の総数です。それから令和3年7月から運賃改正がありましたので、7月から11月分までの車の台数。

A 答弁 高良修一 村長

那覇・栗国間の旅客運賃等については新造船就航後、旅客数、輸送実績等を勘案し検討する予定ですが、新型コロナウイルスによる影響により十分に検討できませんでした。旅客運賃については現在の島民の往復割引以外にも栗国から那覇間、那覇から栗国間のそれぞれの片道運賃について島民割引運賃が適用できるよう交通政策課と協議中です。具体例として、栗国からフェリーで那覇に行ったが所用で1カ月以上を滞在せざるを得なかった場合、フェリーの往復割引期限を超えるため改めて那覇から割引なしで切符を買わざるを得ないケースがあります。又村民の方が最初からフェリーと飛行機

を利用したいケースなどを想定して割引が効くように調整中です。あわせて島民以外の那覇、栗国間の往復運賃の料金について一括交付金が活用できないか検討しているところです。農業資材、家畜飼料等については村独自で条例改正を行い、改正ができませんので、新年度に向けて検討します。ただし、総合事務局の方からは、赤字路線にもかかわらず、低減化を図ることに難色を示しているという事は申し添えたいと思います。

次に自動車航送運賃5m未満の令和2年度の7月から11月の車両台数は3m未満1台、3mから4m未満1846台、4mから5m未満が349台、令和3年度の7月から11月の車両台数は3m未

満1台、3mから4m未満1340台、4mから5m未満514台となっております。

Q 質問

船運賃、農業資材、家畜の飼料等の貨物運賃について、近隣離島と比較しても高いため、農家は儲からない、来島者も増えないのではと思えますが村長はどうお考えですか。

A 答弁 高良修一 村長

議員がおっしゃるとおり、見直しを図る時期に来ていると思っております。ただ軽減したことによる減収は村が最終的に引き受けるという形になります。しかしながらプラス面では、農業、畜産業が振興し、農業所得という形で村に税収として還元して頂け



※質問・答弁は要約して掲載しています。

るなら、運賃を下げることに積極的にトライしてもいいのではないかとこの考えはあります。いろいろ精査して条例改正に向けて努力するつもりです。

《要望》

旅客運賃それから農業資材、家畜飼料等の貨物運賃の低減化については是非やって頂きたいと思えます。車の台数も年間4500台前後利用があります。粟国発と同様の運賃を那覇発からについても低減すればたくさん利用があると思います。ぜひ見直しをお願いします。

畜産業の振興について

Q 質問

畜産業の増産それから家畜の増頭体制の推進に

ついて今後どのように取り組むか伺いたい

A 答弁 高良修一村長

村内畜産業において大きな課題は土地の確保であると考えます。現在土地改良地区を中心に進めている利用権設定を通じて、草地の拡大が図られるよう取り組みます。又機械や施設について畜産農家の支援が講じられますよう取り組みます。村民牧場が基幹農家の支援拠点になるよう今後も取り組む所存です。

Q 質問

土地を開拓して牧草を作つてその牧草を販売すれば、仕事も増え、収入も増えてきます。村長はどのように考えますか。

A 答弁 高良修一村長

草地開発につきましては新たな土地改良区になるかと思いますが、全般に耕作放棄地が多いので、新たな土地改良をしても同じように耕作放棄地が発生するのではと考えられますので、既存の土地改良区でまだまだできていないので、目の前のことをこなししていくのが先かと考えているところです。

《要望》

草地を広げれば家畜を増やすこともできますし、ハブ対策にもなりますので、ぜひ進めていただきたいと思います。



城間 成弘 議員

1 公の施設について

Q 質問

①総合センターに事務所がある村社会福祉協議会、女性連合会、総合センター敷地内の粟国村農漁村生活研究会加工部から使用料は徴収しているか伺いたい。

A 答弁 高良修一村長

村社会福祉協議会、女性連合会は粟国村離島振興総合センター設置及び管理に関する条例施行規則第9条により使用料は徴収していません。

Q 質問

村社会福祉協議会は村から補助金1千万余り、国県から106万7千円交付されているが、電気、水道等の使用料は徴収できないか。

A 答弁 濱川克也 民生課長

小メーターを付けないといけませんので今の状況ではそのままというところで考えています。

Q 質問

農漁村生活研究会を指定管理者として指定できないか。

A 答弁 新里親房 経済課長

次年度に向けて指定管理の手続きを行いたいと思えます。

※質問・答弁は要約して掲載しています。

Q 質問

東ふれあいセンター1階駐車場に農機具等があるが、どのような理由で使用を許可しているのか、使用料も徴収しているのか。

A 答弁 上原一宏

総務課長

観光関連事業団体として草地開発機械組合、海洋レジャーをメインに行っている株式会社あこうです。

A 答弁 高良修一村長

東ふれあいセンターは、防災及び観光交流施設で各種交流事業の団体等に使用料月額1万円徴収しています。

《要望》

2 団体は事業実施にあたり保管場所を確保しておくのが妥当だと思えます。災害時には村民、観光客の避難施設ですので目的に沿った運営をしていただきたい。

令和3年3月時点で

2 村民牧場について

東ふれあいセンター設置条例第2条には非常食の備蓄施設等を併せた複合施設、駐車場は備蓄施設の計画ではなかったのか、使用許可された団体について伺いたい。

A 答弁 高良修一村長

平成15年度の改正で

①補正予算書(第3号)に消費税 5,217千円計上されていますが、経緯について伺いたい。

3千万円以上の課税売上げから1千万円に引き上げられました。税務署に確認したところ申告が必要であると指摘され、過去5年分の消費税額5,217千円の計上をしています。

続、地主不明の進捗状況について

A 答弁 新里親房

経済課長

令和2年度末で、1,314筆の内、1,015筆が未払いで、325筆が今まで一度も支払われていない状況です。

Q 質問

支払い方法の対策について

A 答弁 新里親房

経済課長

地権者の戸籍情報等確認してやっておりますが、なかなか進まない状況です。

3 土木総務費について

Q 質問

①施工管理技士委託料

6,600千円の委託契約内容と業務の進捗、支払いの状況について伺いたい。

A 答弁 高良修一村長

経済課との業務委託で特定の業務ではなく今年度は各種工事の設計の確認や現場打合せや書類確認を行っています。月55万円の支払いで8か月の支払いを終わっています。

Q 質問

委託業務の内容を説明して下さい。

A 答弁 新里親房

経済課長

具体的な業務はありませんが、経済課が発注する業務全般ということになります。



※質問・答弁は要約して掲載しています。

Q 質問

業務がなければ、委託契約する意味もなく報酬を支払うことは契約違反をしていると思います。仮に工事をするとき、完了するまでの請負契約、業務内容、労働時間、作業場所など契約書になると思います。要するに委託契約は仕事を完了して報酬を払うのではないのでしょうか。

A 答弁 高良修一村長

業務委託契約は業務内容がきちんと明記されていないのは事実であり、第9条に協議に定めのない事項については、甲乙協議のうえ、解決にあたるという条項がありますので、年内に変更したうえで残りの3か月間、委託者の方には頑張っていたと思います。

《要望》

どういう仕事をしてもらうための委託だったか、月々55万円の委託料に見合った業務が執行されておらず、業務委託契約としての契約にはならない。しっかりと精査し検討してください。



上江洲 智章 議員

1 農業用マリントンクの予算確保の進捗について

Q 質問

①マリントンクの予算確保の進捗状況はどのようになっているか伺いたい

A 答弁 高良修一村長

農業用マリントンクの予算確保の進捗について、去った10月11日に副村長、経済課長と課長補佐、私の4名で沖縄県南部農林土木事務所を訪問し、事業についての状況確認や早期に進めることの対策等について協議しました。いずれにしても地権者や耕作者の一定以上の同意がなければ採択に至らないため、その作業を急ぐことが求められ、また、仮称ではありますが推進協議会の立ち上げも検討しています。

Q 質問

ファームポンドの進捗状況、地権者交渉がどうなっていますか。

A 答弁 新里親房

経済課長

四志ファームポンド事業の利用権設定につきましては、四志の地権者数700筆余りの内約9%の数字に留まっておりません。同意については進んでいない状況です。

A 答弁 高良修一村長

補足ですが、ファームポンドの対象でない場所についてはマリントンクを置けるわけです。ファームポンドをやっている所にマリントンクの事業を入れるとファームポンドが遅れます。ファームポンドの対象外である地域には計画をきちんと県に申請して、90%以上の同意を得ればマリントンクは別枠で事業を進めることが出来ます。

Q 質問

ほかの地区は今後計画を進めるということでよろしいのでしょうか。

A 答弁 新里親房

経済課長

水事情が悪い地域につきましては事業計画を早急に進めてまいります。

Q 質問

金附名地区から進めていただきたい。1番最初に土地改良されていますが、水不足の解消が全然されていません。実際来年から動いてもらえるのでしょうか。

A 答弁 新里親房

経済課長

経済課に技術者もいますので進めていきたいと

※質問・答弁は要約して掲載しています。

思います。

《要望》

マリントラックの件は是非計画を立てて進めていただきたい。

題となっています。

Q 質問

かんがい排水事業の未整備地区については以前、当面は放水車に対応し、大型散水車の導入を検討すると言っていました。今後の対応はどのようにするのか伺いたい。

A 答弁 新里親房 経済課長

補助事業がありますので、積極的に活用したいと思っています。

Q 質問

①かんがい排水未整備地区の対応はどのようにするのか伺いたい。

A 答弁 高良修一 村長

かんがい排水事業について、事業計画の採択がスムーズにいくように土地同士の確保を進めています。かんがい排水事業が進まない理由として、土地が細分化がされている点と、未相続の土地の多さが事業を進める上で大きな課

える島だと、農業立村だと考えています。土地の集約と水事情の解消、この2つ

は栗国村の農業発展の弊害になっていくことと強く認識しています。この件については皆様の知恵も借りながら、そして経済課の皆さんの尻を叩きながら、村民のためにいろんな方策を考えていきたいと思っています。

考えているか伺いたい。

A 答弁 高良修一 村長

人口減少については栗国村の根幹にかかわる重要なことです。人口増に向けた施策としては、農業、漁業、観光産業をより重視し、各産業の活動を推進し、さらに新産業の舵をとり、移住者を増やし、定住人口の安定化を図ります。人口維持に向けた施策として、現在妊婦や出産、がんや難病等の治療で沖縄本島に行かれる方へ村単独等で実施を行っているところ。保護者が安心して、働くことができ、雇用の環境改善を図る観点から子どもの居場所を開設し、子育て環境を充実させる取り組みを実施しているところです。つまり人口流動の激しい、若い世代

の方々に安心して子育てができる環境づくりを行

政が応援することが必要と考えています。現在全国の自治体が人口減少にあえいでいるところです。妙案がございましたら議員の皆様からのご提案をいただき、また不十分な施策につきましまして是非ご助言下さいますようお願い致します。

Q 質問

サトウキビ産業、畜産業における課題解決はどのように考えているか伺いたい。

A 答弁 高良修一 村長

第一次産業においては農地の確保が課題です。県や国の指導機関へ、技術的なものだけでなく、栗国村が離島村であることを踏

1 第4次栗国村総合計画について



小橋川 聡 議員

Q 質問

①本村が抱える課題の一つに人口減少があるが、解決に向けた今後の取り組みについてどのように



※質問・答弁は要約して掲載しています。

まえ、島のサトウキビ産業、畜産を差別化して収益の上がる営農的な観点で積極的に要請していきま

Q 質問

第4次粟国村総合計画を
実行していないのが問題
です。今住んでいる方々
が豊かで幸せを感じない
と人口が増えないと思

現状です。早急に取りか
ります。

Q 質問

新しい年度が間近に
迫っている中で、サトウキ
ビ増産、畜産業について、
どういう計画をしている
のか述べて下さい。

A 答弁 新里親房

経済課長

ます。計画には、「農業従
事者の高齢化、担い手不足
を補う上で、若年層が継続
して就農できる支援の在
り方の検討が課題となっ
ています。」とありますが、
何もしていません。計画
の実行について伺いたい。

サトウキビについては、
面積はある程度確保され
ていますので、単収増加で
2千トン未満が推移して
いますので、それを越して
いくような形をまず一番
目の目標にして取り組み
ます。畜産業については、
優良導入牛事業について
要望が多いため再検討の
ため県と調整して導入す
る方向で考えたいと思

Q 質問

第一に仕事が充実して
いる、第2に子育てがし
やすい、高齢者にやさし
い、住みやすい、みんなが
幸せな島だと言えるよう
な計画がありますので、あ
とは実行だけです。ぜひ各
課の皆さん、実行して下さ
い。令和6年度までに目標
を達成できるようにがんば
っていただきたい。

A 答弁 高良修一村長

不十分な施策について
はご指導ご助言下さい。第
4次粟国村総合計画に
則ってきちんとやれば、人
口は増加するんだという
貴重なご意見をいただき
ました。そのとおりやるた
めに計画を策定したはず
ですので、計画をきちんと
実行して、計画どおりの粟

国村になるように、職員の
皆さんには身を粉にして
愛民の精神で頑張ってい
ただいて実現して、愛民富
までもっていかれたらと考
えています。

《要望》

全課を挙げて、総合計画
を改めて見直し、令和4年
度にしっかりと事業化し
て進めていただきたい。



議会現場視察状況

議会運営委員会で、予算審議に関連する施設等について視察場所を決定し、定例会開会直後に視察を行っています。

12月定例会では、12月中に工事完了する予定の歯科診療所・歯科医師住宅にて民生課長より概要説明があり、施設内を視察しました。また北漁港では、軽石の漂着状況と対策について経済課長より説明がありました。



現場視察 歯科診療所・歯科医師住宅



現場視察 北漁港

令和3年栗国村議会報告

議会の開催日数

	定例会			臨時会			全員協議会	議会運営委員会	広報委員会
	回数	会期	実日数	回数	会期	実日数			
令和3年	4	18	10	5	5	5	5	9	3

付議事件数（議案など議会で審議される事項のこと）

条例	村長提出								議長提出
	予算		契約		契約	人事案件	専決処分	その他 (報告含む)	意見書
	一般	特別	一般	特別					
7	5	21	1	3	7	4	7	14	13

議員報酬

近隣村

村名	人口★	議員定数	議長	副議長	議運委員長	議員	期末手当支給率
栗国村	689	7	238,000	197,000	188,000	185,000	335 / 100
渡嘉敷村	724	7※	207,000	171,000	/	162,000	315 / 100
渡名喜村	345	6	207,000	171,000	/	162,000	310 / 100
座間味村	915	6	227,000	191,000	/	162,000	330 / 100

★令和3年1月1日現在 住民基本台帳

※令和4年一般選挙より1減

議会の動き

12月	1日	議会運営委員会
	7日～8日	令和3年第6回粟国村議会臨時会
	23日	ファームポンド及びマリンタンク計画に関しての粟国村と土地改良事業団体連合会との意見交換会（議長）
1月	21日	粟国村ソテツ保護条例（仮称）制定に向けての意見交換会（議長）
	24日	議会運営委員会
		広報委員会
	26日	令和4年第1回粟国村議会臨時会
2月	21日	粟国村歯科診療所オープニングセレモニー（議長）
		広報委員会



歯科診療所オープニングセレモニー

表紙の題字と写真をお寄せください

題字（議会だより）と写真を募集しています。

連絡先：議会事務局

電話：988-2222 FAX：988-2281

Mail: gikai@vill.aguni.okinawa.jp

議会傍聴について

3月定例会は、3月8日（火）開会
予定です。

粟国村ホームページ、インフォメーションに粟国村議会・粟国村議会だよりを掲載していますのでご覧ください。

【編集後記】

コロナ禍の中、旧正月の行事等も中止となりましたが、体調面にはどうぞお気を付けてください。令和4年1月26日に臨時議会が開かれました。議案の一つとして、粟国村農畜産物集出荷貯蔵施設備品購入の契約締結についてでしたが、もちきびを袋詰めするまでの機械一式が3月末までに設置されます。今後は課題とされる高齢化する農家や新規就農者などへ増産に向けた支援が急がれるところです。そして、村民が待ちに待った粟国村歯科診療所が1月27日から診療が開始されました。往来自粛が続く中、歯科治療ができなく困っていらっしやる村民の声を多く聞きました。最新の機器が揃えられ、歯科医師の入船先生が常駐していらっしやいます。村民の健康長寿の一助となることを願っています。

今後も議会だよりは定期発行を行い、議会活動がわかりやすく掲載できるよう努力してまいりますので、村民の皆様のご意見、ご要望等をお寄せ下さい。

議会広報調査特別委員会
委員長 城間 成弘
副委員長 赤嶺 真知子
委員 小橋川 聡